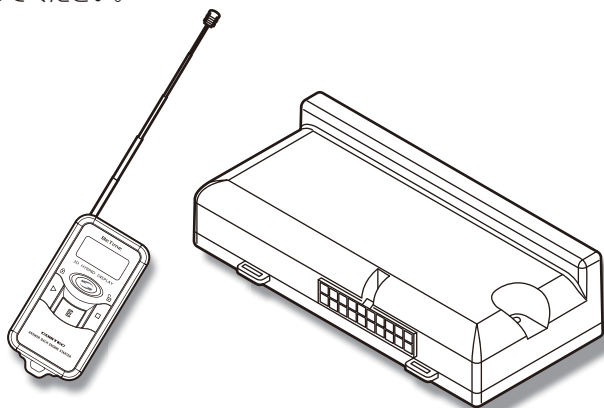
プッシュスタートシステム車専用
双方向リモコンエンジンスターター

WR720PS/820PS

取扱説明書 / 保証書

Be Time

この度はリモコンエンジンスターターをお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。本書には取付けおよび操作手順が説明されております。正しくご使用いただくために本書をよくお読みのうえ、ご使用ください。また、読み終えた後いつでも見られるよう大切に保管してください。

最新版の取扱説明書は弊社ホームページにてご確認できます

http://www.e-comtec.co.jp/

⚠ 注意

必ずバッテリーを外した状態で取付けをして下さい。

初期設定および動作確認を行わないと本製品で**エンジンは始動しません**。

取付けた時や**車両バッテリーを交換・取外した時**は必ず、初期設定および動作確認（⇒ P15 ～ 18）を行なってください。

本書の見かた

⇒ PXX	参照先を記載しています。（XX はページ）
アドバイス	本製品に関する補足情報を説明しています。
OP	別途オプションが必要なことを表します。

COMTEC

P-Ver.2 017031

はじめに
取付け
オプションの取付け
リモコンの使用方法
機能設定
付録

目次

ご使用上の注意

ご使用の前に、この「ご使用上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、注意事項には危害や損害の大きさを明確にする為に誤った取扱いをすると生じる、または想定される内容を「警告」･「注意」の 2 つに分けています。

⚠ **警告** **警告を無視した取扱いをすると、使用者が死亡や重傷を負う原因となります。**

⚠ **注意** **注意を無視した取扱いをすると、使用者が障害や物的損害を被る可能性があります。**

⚠ 警告
●本製品のハーネスから他の電装品の電源や ACC 電源を取らないでください。車両故障や車両ヒューズ切れ、本製品の故障および動作不良の原因となります。
●取付けの安全上、お客様ご自身での取付作業に関するご質問、お問合せ情報開示、サポート等に関しては一切お答えできませんのでご理解ください。
●各種ハーネスコネクター接続先は、弊社ホームページの車種別接続図でご確認ください。
●車両ハーネスコネクター形状が異なる場合や割り込み接続ができない場合は、直接接続等無理に接続を行わないでください。車両故障の原因となります。
●本製品を使用中、万が一車両盗難や車上荒らし等の被害が発生しても弊社では一切責任を負いません。あらかじめご了承ください。
●必ずバッテリーを外した状態で取付けをしてください。また、バッテリーの取外し、取付けをする際、バッテリー固定金具やバッテリー端子取付け用ナットは工具を使ってしっかりと締め付けて固定してください。不適切な取付けを行うと車両火災の原因になります。
●コネクターを接続する際は「カチッ」と音がするまでしっかりとはめ込んで下さい。また、各種ハーネスと車両金属部がかみ込まないように取付けしてください。
●安全上、エアバッグのコネクターは絶対に外さないように充分ご注意ください。また、エアバッグ周辺には本製品の取付けを行わないでください。
●排気ガス中毒の危険性があるため、換気の悪い車庫や屋内での使用はしないでください。
●ボディカバーを掛けたまま使用しないでください。
●火災の危険性があるため、燃えやすい物の近くでは使用しないでください。
●アイドリングの直後や本製品作動中にエンジン点検等を行うと、火傷をする恐れがありますので、エンジンルーム内を十分に冷ましてから行なってください。
●お子様やペットを車に乗せたままでは、絶対に使用しないでください。
●リモコンはお子様の手の届かない場所に大切に保管してください。
●本製品の各種ハーネスは必ず市販の絶縁テープを巻いて保護してください。各種ハーネスと車両金属部が接触してショートし、メインユニットの故障、車両ヒューズ切れなどの本体の動作不良になる恐れがあります。また絶縁テープを巻いた各種ハーネスをダッシュボード内（コラムカバー内等）へ収納する際、狭いスペースのため、各種ハーネスと車両金属部が接触してショートしないようにしっかりと固定し十分に気をつけて取付けを行なってください。車両金属部の接触によるショートが原因の本体動作不良または車両や車載品の故障、事故等の付随的損害について弊社では一切責任を負いません。

ご使用上の注意

⚠ 注意

●本製品は日本国内のみ使用できます。海外では使用しないでください。

●本製品はプッシュスタートシステム車専用となります。

●リモコンのケースやアンテナを手などで包み込むと電波の飛距離が短くなります。

●ターボタイマー（スターター含む）や他社製盗難警報機との併用取付けはできません。

●本製品作動中は、車両の仕様上キーレスエントリーシステムまたはワイヤレスドアロックが作動しません。

●本製品作動中は、オートポジションステアリングおよびドライビングポジショニングシステムが作動しない事があります。

●公道でエンジンをかけたまま車両を無人で放置すると、道路交通法違反となります。必ず私有地でご使用ください。(公道とは、公共施設･スーパー･月極等の駐車場や河川敷･神社の境内等、不特定多数の車が出入りできる場所を含みます)

●一部車両にてエンジンスターター作動中、エアコンなどの電装品が使用できない場合がありますが、故障ではありません。

●本製品は防水加工されていません。雨、雪、水等のかかる場所や濡れた手での操作は避けてください。リモコン内部に水分が浸入した場合、故障の原因となり修理不可となる事があります。
※急激な温度変化による結露や汗をかいた手で触ったり、ポケット等に入れた状態で雨や汗による蒸れ等によって内部に水分が浸透する恐れがありますのでご注意ください。

●本製品の故障による代替品の貸出および付随的障害、損害（車両のトラブル、火災、電話代、レンタカー代、作業保証、商業損失等）についての補償は弊社では一切行なっておりません。

※ 本製品取付け後にエンジン始動および停止した時、メインユニットからブザー音が鳴ることがありますが、異常ではありません。

⚠ 電波法について

●リモコンケース裏面の技術基準適合証明ラベルは剥がさないでください。このラベルを剥がすと技術基準適合機として認められなくなりますので、必ずラベルが貼られた状態で使用してください。

●分解したり改造することは、電波法で禁止されています。改造して使用すると電波法により罰せられることがあります。

⚠ プッシュスタートシステム車について

エンジンスターターでのエンジン始動

※ 工場出荷時の設定およびオプションの接続がされていない場合

● 下記のような場合、本製品でエンジン始動はできません。
・ドアが開いている状態（車種によってはトランク等も含まれます）
・フットブレーキが踏まれた状態
・室内灯や車幅灯、ヘッドライトが点灯状態
・車両のオートライト機能が ON の状態
また、本製品によるアイドリング中に上記の状態になった場合は、エンジンを停止します。
※本製品を使用する場合は車両のオートライト機能を OFF にしてください。
ただし、オートライト制御機能を使用する場合は除く（⇒ P33）

● 車両に乗り込むときは必ずエンジンが停止します。車を運転する際には手動でエンジン始動が必要となります。

● スイッチイルミネーションが点灯中は本製品でエンジン始動することができません（純正スマートキーを携帯して車両に近づいたり、エンジン停止直後やドア開状態、ドアの開閉直後等）

● イルミネーションコントロール機能（メーター照明の明るさを調整する機能）付きの車両は、イルミネーションの明るさ調整を最大（明るく）にしてください。暗く調整しているとドア開等によるエンジン停止機能が作動しない恐れがあります。イルミネーションの明るさ調整を最大にできない場合はオプション SS-051「カーテシセンサー（複数線）」配線を行なってください。

純正スマートキーおよびスマートエントリーシステム

● 本製品によるアイドリング中は、車両の仕様上純正スマートキーおよびスマートエントリーシステムによるドアロック / ドアアンロックができなくなります。その場合は純正スマートキー内臓のメカニカルキーを使うか、本製品のリモコンでエンジンを停止させてから純正スマートキーでドアロック / ドアアンロック操作を行なってください。

● 本製品でのアイドリング終了後、またはリモコンでのエンジン停止後はドアノブまたはドアノブスイッチでのドアロック / ドアアンロック操作はできません。純正スマートキーでドアロック / ドアアンロック操作を行うか、ドアノブでドアロック操作を行なった後、3 秒以上待ってからスマートエントリー機能（ドアノブをふれる）のドアアンロック操作を行なってください。

● **シートベルト警告灯用のコネクター等、純正の車両コネクター類は絶対に外さないでください。本製品作動中にドアロック / ドアアンロックが正常に作動しません。**

その他

● 本製品でのエンジン始動時、車両のストップランプが数秒間点灯します。

● 本製品でのアイドリング終了後、スイッチイルミネーションが点灯し、自動消灯します。

● メーカー純正のオートアラーム装備車には取付けできますが、G-Security 装備車には取付けできません。オートアラームはイグニッション ON にてセキュリティ解除となるため、リモコンエンジンスタートにて同時に解除され誤警報を行いません。なお、アイドリング終了後オートアラームは自動復帰しません。

● 弊社製カーセキュリティとの連動はできません

● スマートスタート機能を使用して走行する場合は、車両のセキュリティ表示等が点滅したままになります。

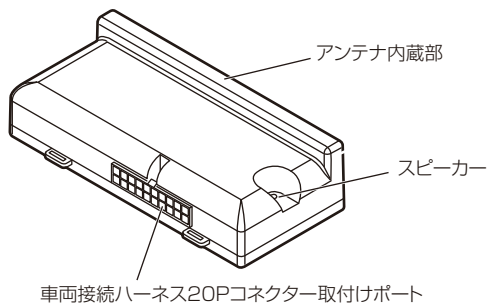
● 下記装置は本製品を取付けると、正常に動作しなくなる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
・キーレスエントリーシステムまたはワイヤレスドアロックシステム
・セキュリティシステム
・オートポジションステアリング＆シート
・オートライトコントロールシステム

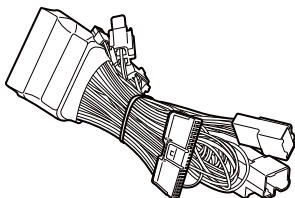
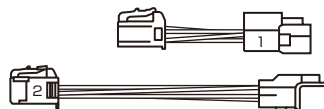
⚠注意

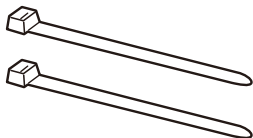
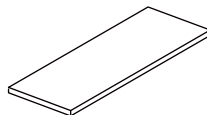
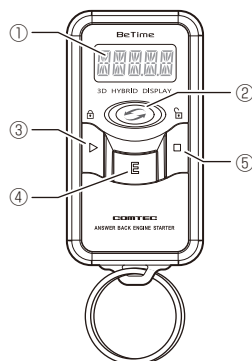
本製品取付け後、メーカーオプション「キーインテグレーテッドウォッチ（時計型）」、「ウェルジュ（ハート型）」等、純正スマートキーを追加するとリモコンでエンジン始動できなくなります。その場合、「純正スマートキーの認証再登録をする（⇒ P41）」を行なってください。

梱包内容

メインユニット

■メインユニット（1個）

付属品

車両接続ハーネス（1 個）

フットブレーキ変換ハーネス（2 本）
【Be-PS01】（WR720PS のみ）

※車種によって使用しない場合や、必要な変換ハーネスが異なる場合があります。弊社ホームページより最新の適合表をご確認ください。

インシュロック（2 本）

両面テープ（1 枚）

リモコン

No.	名　称
①	液晶表示部
②	アンサーバックランプ（青）
③	スタートスイッチ（▶）
④	エンジンスイッチ（E）
⑤	ストップスイッチ（■）

※　電池交換のしかた（⇒ P8）

操作方法一覧

作動内容	操作方法
エンジンスタート	E → ▶
エンジンストップ	E → ■
車両ドアロック （オプション Be-970 ワイヤレスドアロック配線キット接続時）	▶ → ▶ または ▶ **2 秒長押し**
車両ドアアンロック （オプション Be-970 ワイヤレスドアロック配線キット接続時）	■ → ■ または ■ **2 秒長押し**
アイドリング時間を延長する	アイドリング中に E → ▶
エンジン始動およびアイドリング残時間を確認する	E **2 秒長押し**
リモコンの音色、音量切替え	▶ ＋ ■ **5 秒長押し**

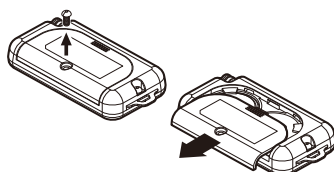
※ 各種設定操作方法（⇒ P34 ～ 36）

ご使用の前に

電池交換のしかた

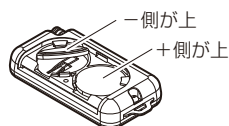
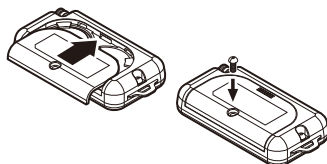
電池は下図の手順に従って、＋／－の向きを間違えないように交換してください。
※ 電池カバーを取付けていないとリモコンの電源は入りません。ご注意ください。

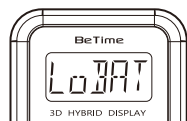
1）プラスドライバーでネジを取外し、電池カバーを矢印の方向へスライドさせ取外します。

※電池カバーを外す時に、ケースやカバーに傷をつけないよう十分注意してください。

2）右図の溝に非金属の細い棒などを入れ、古い電池を取出します。

※無理に電池を外すとツメが折れてしまう場合がありますので注意してください。

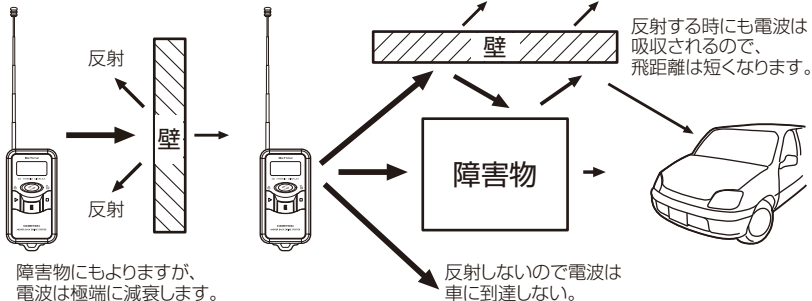
3） 新しい電池（CR2025 × 2 個）を、電池の極性＋／－に注意して挿入します。

※ 必ず新しい電池 2 個と交換してください。新しい電池と古い電池を同時に使用すると液漏れの原因になります。

4）最後に電池カバーを矢印の方向からスライドさせ、ネジを取付けます。

アドバイス

・本製品はリモコン操作を行なった際に電池が消耗している場合、右図の液晶表示でお知らせします。その際は電池交換時期です。
・本製品を長期間使用しない時は、リモコンの電池を抜くことをおすすめします。

⚠ 注意

- **指定電池（CR2025）以外は使用しないでください。**
- **電池寿命の目安は、新品の電池で 1 日 2 回の操作で約半年間です。**
  ※使用する条件によって異なります。
- **工場出荷時はテスト用の電池をセットしていますので電池自体が自然放電して電池寿命が約半年間を下回る場合があります。**

電波特性（電波飛距離について）

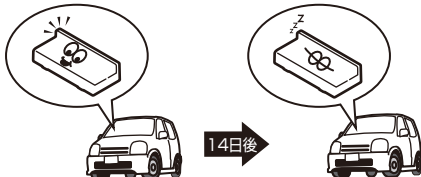
- 鉄筋コンクリートの壁や、トタン等電気を通す障害物が車とリモコンの間にあると、極端に到達距離が短くなります。（電波が障害物によって反射する）
- 電波は直進しかしません。ただし反射しながら飛ぶ場合があります。車が直接見えていなくてもまわりに反射できそうな壁・建物等があれば届くことがあります。従って、車との間に障害物があった場合まわりに反射できる壁・建物等がなければ届きません。

- リモコンを操作する時は、電波送受信の安定性を確保するために下記のように操作してください。
- アンテナ部に触れた状態で操作すると、著しく通信距離を縮めますのでご注意ください。

●アンテナを伸ばさずに操作すると電波の受信距離が短くなります。

●ケースやアンテナを、手で包み込まないよう操作してください。

●リモコンは垂直に立てて操作してください。

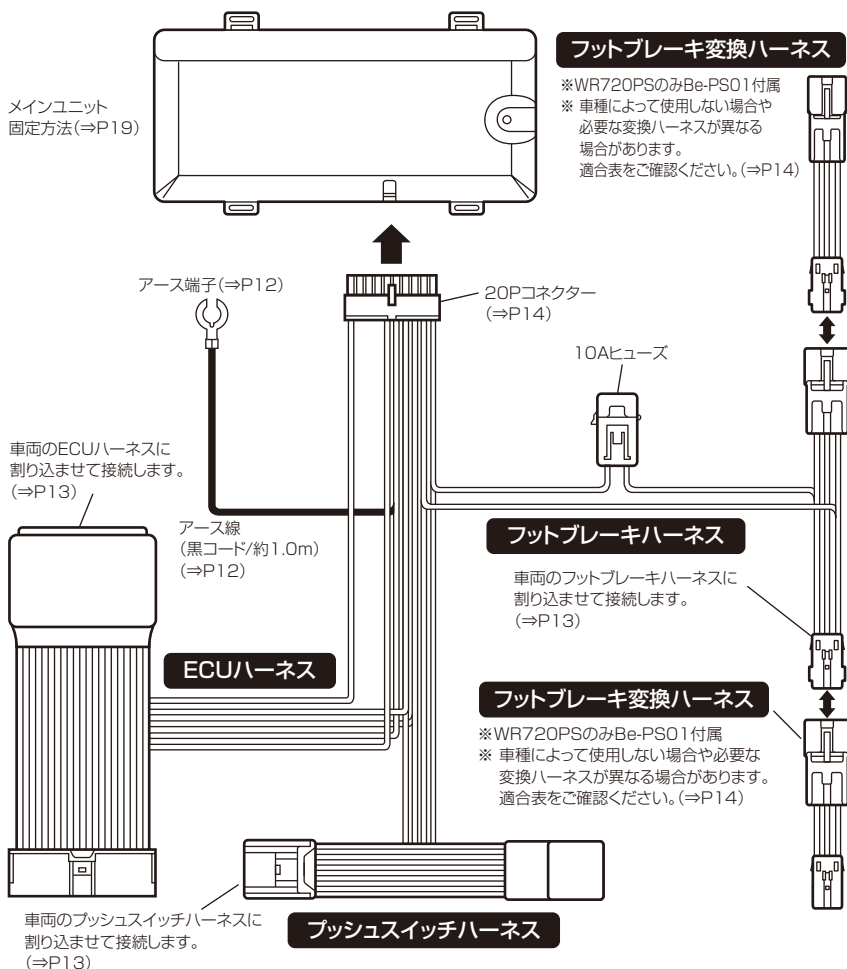
スリープ機能について

車を使用しない状態が 14 日間以上続くと、バッテリーの消耗を抑えるスリープ機能が働きます。スリープ機能が働くと、本製品によるエンジン始動はできません。
スリープ機能を解除する時は、1 度手動でエンジンを始動させてください。

本製品を長期間使用しない時は、
リモコンの電池を抜くことをお勧めします。

取付け

接続全体図

⚠ 注意

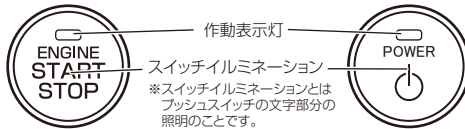
アース線（黒コード）を塗装されていないボディまたは塗装部を削ったボディ、フレームのビスへ確実に取付けされていない場合、メインユニットに電源が入らず初期設定および動作確認（⇒ P15 ～ 16）が出来ませんのでご注意ください。

取付け上の注意

⚠ 注意

取付けには専門知識が必要です。取付けはお買い上げの販売店またはカーディーラー等にご依頼ください。お客様ご自身で取付けられた場合は、保証が受けられません。

◆取付ける前に下記の点に注意して、本製品の取付けを行なってください。

カーテシセンサー配線について

ドアを閉めヘッドライトを消しエンジンを始動した時に、プッシュスイッチ（下図）のスイッチイルミネーションが点灯したままになる車両は、必ずオプションの「SS-051 カーテシセンサー（複数線）」を使用してカーテシ配線を行なってください。
配線をしないとスターターのリモコンでエンジンが始動しません。

※ オートロック機能を設定 1（⇒ P31）にした場合も必要になります。
※ カーテシ配線接続場所については弊社ホームページ「車種別接続図」で確認してください。

シフトレバーとパーキングブレーキについて

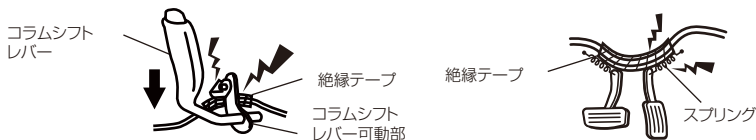
シフトレバーを P (パーキング) にして、パーキングブレーキ (サイドブレーキ) を確実にかけ、車両電源を OFF にします。

取付けに必要な工具等

- サーキットテスター
- スパナまたはボックスレンチ
- ドライバー（＋）
- 保護テープ
- 絶縁テープ

※ その他の工具が必要になる場合があります

配線について

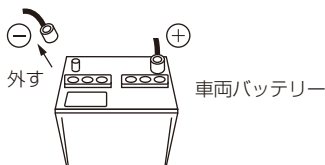
ダッシュボード内（コラムカバー内等）へ収納する際、各種ハーネスと車両金属部（コラムシフトレバー可動部、ステアリング可動部、ペダルのスプリング、その他鉄板等）が接触してショートしてしまいメインユニットのヒューズ切れや故障または車両ヒューズ切れなど本体の動作不良となりますので、必ず市販の絶縁テープを貼って保護し、各種ハーネスと車両金属部が接触しないように取付けを行なってください。

取付け

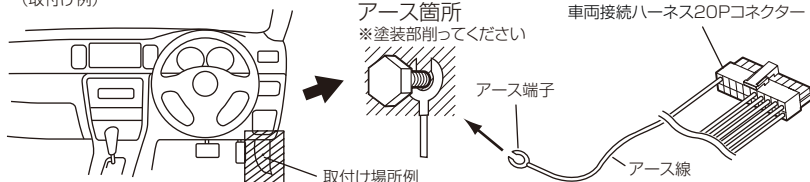
取付け方法

⚠ **必ずバッテリーを外した状態**で取付けをしてください。
※バッテリーを接続したまま取付けると、車両故障のおそれがあります。

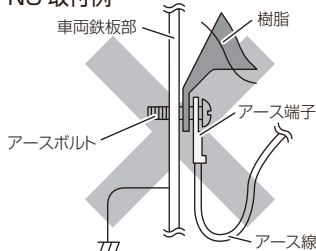
⚠ 注意

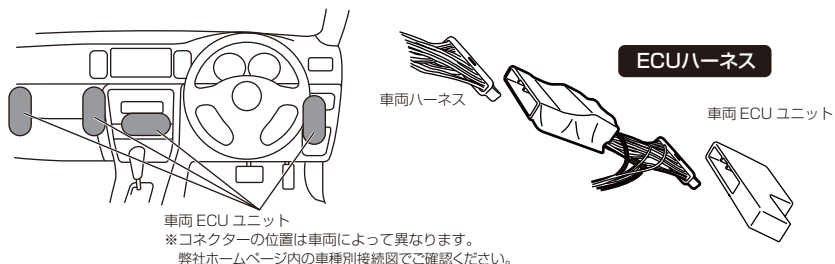
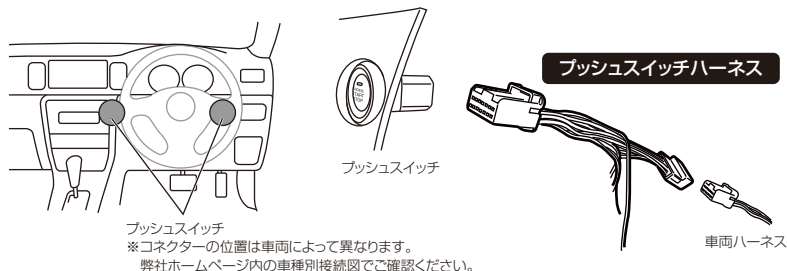
- **バッテリーを外すとオーディオ・ナビゲーション・時計等がリセットされます。**
- **ナビゲーションにパスワードが設定されている場合はパスワードを解除してからバッテリーを外してください。解除しないとバッテリーを接続した時にパスワードを入力する必要がありパスワードがわからないとナビゲーションが使用できなくなります。**

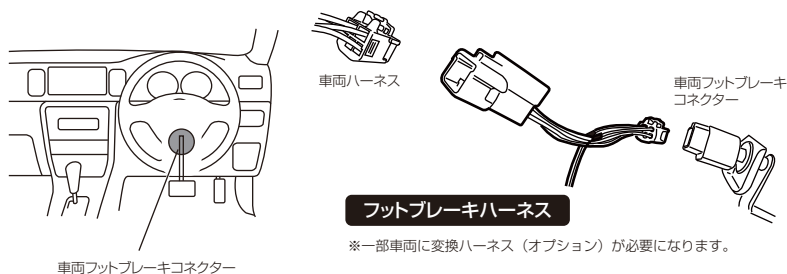
1 車両のバッテリー㊀（マイナス端子）を外します

2 車両接続ハーネス 20P コネクターのアース端子（黒コード）を、**塗装されていないボディ**または**塗装部を削ったボディ**、フレームのビスへ確実に共締めしてください。
※ 塗装されたボディに取付けすると、アースが不安定になり動作不良の原因となります。
アースは正しく取り付けてください。

（取付け例）

⚠ 注意

- アースボルトとアース端子の間に樹脂などを挟んでいる（右図）と初期設定および動作確認が行えないため、車両鉄板部に確実に共締めしてください。
- 取付け手順通り (⇒ P12 ～ 14）に接続を行わないとメインユニットから接続確認メロディ「ドレミファソラシド」が鳴らない場合があり、初期設定および動作確認を行なうことができません。
必ず取付け手順に従って取付けを行なってください。
- オーディオやナビゲーションなど、他の電装品と同じボルトにアースを取付けないでください。本製品の動作不良やオーディオのメモリーが消失したりします。

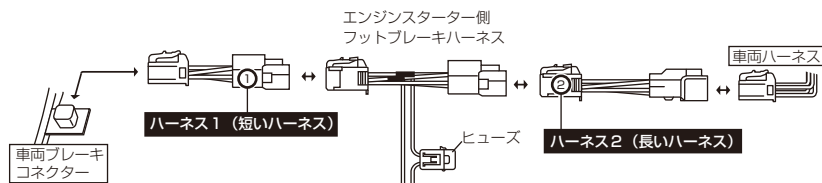
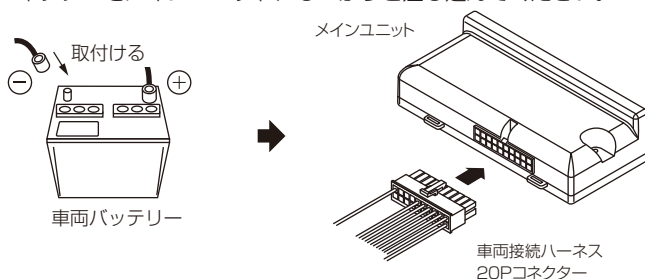
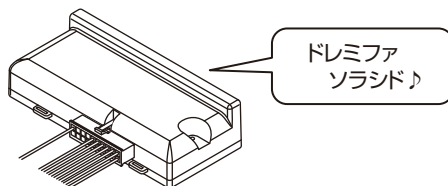
NG 取付例

⚠ **必ずバッテリーを外した状態**で取付けをしてください。
※バッテリーを接続したまま取付けると、車両故障のおそれがあります。

3 車両の ECU ユニットに ECU ハーネスを割り込ませて接続してください。

4 車両のプッシュスイッチコネクター（プッシュスイッチ裏側）にプッシュスイッチハーネスを割り込ませて接続してください。

5 車両のフットブレーキコネクター（フットブレーキ付け根付近）にフットブレーキハーネスを割り込ませて接続してください。

取付け

取付け

⚠ **必ずバッテリーを外した状態**で取付けをしてください。
※バッテリーを接続したまま取付けると、車両故障のおそれがあります。

■変換ハーネスが必要な場合

オプションの変換ハーネスを使用します。（WR720PSのみBe-PS01が付属します）
下図のように、変換ハーネス1、2の数字印があるコネクターをエンジンスターター側フットブレーキコネクターに接続してください。ハーネス1、2の反対側コネクターを、はじめに外した車両ハーネスと車両ブレーキコネクターに割り込ませます。

6 外した車両のバッテリー⊖（マイナス端子）を接続後、車両接続ハーネスの20P コネクターをメインユニットにしっかりと差し込んでください。

7 車両接続ハーネスの２０P コネクターをメインユニットに接続すると、メインユニットから接続確認メロディ「ドレミファソラシド」が鳴ります。

8 初期設定を行うまで「ピロリ…ピロリ…」とブザー音が鳴ります。
初期設定および動作確認（⇒ P15）を行なってください。

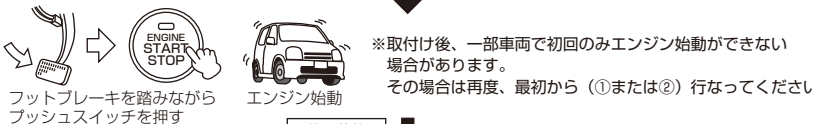
初期設定および動作確認

⚠ 注意

- P12 ～ 14 の取付けおよび接続後、接続確認メロディ音「ドレミファソラシド」を確認してから必ず下記の動作確認を行なってください。（アース線 黒コードの取付け・固定を忘れないでください）
- 車のバッテリー交換や本製品の付替えなどで、バッテリーや車両接続ハーネスを取外した場合は、必ず下記の初期設定および動作確認を行なってください。また、メインユニットからエラー音が鳴らず全くメインユニットが反応しない場合は「リモコンの ID コードを再登録する」（⇒ P39）を行なってください。
- 動作確認前に安全のため、必ずパーキングブレーキ（サイドブレーキ）をかけてください。
- 下記の手順に従って動作確認を行なってください。エラー発生時の対処方法は P17 を参照してください。

初期設定および動作確認手順

※下記操作を行わないとリモコンでエンジン始動できません

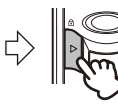
1 純正スマートキーを車内に持ち込み、車両のドアを《①開けた状態から閉めて→開ける》または《②閉めた状態から開ける》動作を行なった後、手動でエンジンを始動させます。アイドリングしている状態で約 5 秒後にメインユニットからブザー音が「ピーピッピッ」と鳴ります。

2 プッシュスイッチを押し、エンジンを停止します。

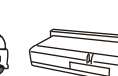
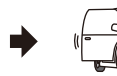
ENGINE START STOP

OFF → エンジン停止

取付け

3 全てのドアを閉めスイッチイルミネーションが消灯するのを確認し、純正スマートキーを車から離れた場所（５m以上）へ移動させる。
※ 手順4～6は純正スマートキーを車両から離した状態で行なってください。

4 リモコンのエンジンスイッチ（E）を押し、液晶表示部に『SET』が表示されている間にスタートスイッチ（▶）を押してください。
※ この時エンジンスターターの使用制限がありますので注意が必要です。（P5 参照）

Q:この時、エンジンが始動しますか？

5 アイドリング中にドアを開けてエンジンが停止することを確認してください。
（作動停止エラー音「ブーブッブッブッ、ブーブッブッブッ」が鳴ります）

Q:この時、エンジンが停止しますか？

6 その後車内に入り、全てのドアを閉めて**スイッチイルミネーションが消灯するまで待ってから**、再度エンジンスターターでエンジン始動し、アイドリング中にフットブレーキを踏んでエンジンが停止することを確認してください。
（フットブレーキ検出エラー音「ブー、ブー」が鳴ります）

Q:この時、エンジンが停止しますか？

全ての動作は正常です

動作確認対処方法

下記の Ⓐ ～ Ⓓ の各対処方法を行なった場合は、再度初期設定および動作確認を P15 ❶から行なってください。

A	1. 車両接続ハーネスの配線場所が違っていませんか？（⇒ P12 ～ 14） 2. メインユニットに 20P コネクターが接続されていますか？ 3.ECU ハーネス、プッシュスイッチハーネス、フットブレーキハーネスの各コネクターは確実に接続されていますか？ 4. 車両ストップランプのヒューズは切れていませんか？（フットブレーキを踏んでストップランプが点灯していない状態） →車両ストップランプのヒューズを交換してください。 5. アース端子は確実に接続されていますか？ →アース端子を塗装されていないボディ、または塗装部を削ったボディへしっかり取付けしてください。（⇒ P12 ❷ ）
B	1. 車両状態がアクセサリーモードまたは ON モードの状態ではエンジンスターターでエンジン始動できません。 2. ドアが開いていませんか？（車種によってはトランク等も含まれます） 3. フットブレーキが踏まれた状態になっていませんか？ 4. 室内灯や車幅灯、ヘッドライトが点灯していませんか？ 5. 車両のオートライト機能（ライト自動点灯 / 消灯機能）が ON になっていませんか？ 6. スイッチイルミネーションが点灯していませんか？（純正スマートキーを携帯して車両に近づくとスイッチイルミネーションが点灯する車両があります） 7. アイドリング中（ヘッドライト OFF、ドアを閉めた状態）にスイッチイルミネーションが点灯する車両ではないですか？ →オプション「SS-051 カーテシセンサー（複数線）」を取付けてください。（⇒ P26）
C	1. 各種コネクターの接続を確認してください。 2. イルミネーションコントロール機能（メーター照明の明るさを調整する機能）を暗く調整していませんか？一番明るくなるように設定してください。イルミネーションの明るさ調整を最大にできない場合はオプション SS-051「カーテシセンサー（複数線）」配線を行なってください。（⇒ P26） 3. スマートスタート機能を使用していませんか？（設定が ON の場合、本製品のリモコンでドアアンロック後 60 秒以内にドアを開けてもエンジンは停止しません） 4. オートライト制御機能を使用していませんか？（設定が ON の場合、ドアを開けてもエンジンは停止しません）
D	1. フットブレーキハーネスがしっかり接続されているのを確認してください。

動作不良エラー確認表

メインユニットからのエラー音

メインユニットからブザー音を鳴らすことで、製品の動作状態やエラーを確認することができます。

No.	ブザー音	名　称	内容 / 解除方法
1	ブー、ブー ⬭　⬭	フットブレーキ検出エラー	本製品作動中にフットブレーキを踏んだ時の状態です。解除するには、再度リモコンでスタートさせるか、車両電源を ON にしてください。 対策 フットブレーキハーネスの接続を確認してください。（⇒ P13 ～ 14）
2	ブーブッブッ、 ⬭ ○ ○ ブーブッブッ ⬭ ○ ○	リモコン ID 未登録	リモコンで ID コード登録してください。（⇒ P39）
3	ブッブッブーブー、 ○ ○ ⬭⬭ ブッブッブーブー ○ ○ ⬭⬭	エンジン始動未検出エラー	純正スマートキーでもエンジン始動できない可能性があります。 対策 純正スマートキーでエンジン始動できる状態にしてからスターターの操作を行なってください。 また、すべての配線が接続されているか確認を行なって下さい。 ⚠注意 外気温が低い時や、バッテリーの状態によってエンジンがかかりにくいことがあります。 - - - - - - イモビライザーの認証ができていない可能性があります。 対策 純正スマートキーを交換、追加、修理等した場合は「純正スマートキーの認証再登録をする（⇒ P41）」を行なってください。
4	ブーブッブッブッ、 ⬭ ○ ○ ○ ブーブッブッブッ ⬭ ○ ○ ○	作動停止エラー	リモコンでエンジン始動させた時、下記の状態になった場合。 · ドアが開いている場合（車種によってはトランク等も含まれます） · 室内灯や車幅灯、ヘッドライト点灯時 · 車両のオートライト機能（ライト自動点灯 / 消灯機能）が ON の状態 · スイッチイルミネーションが点灯中（純正スマートキーを携帯して車両に近づくとスイッチイルミネーションが点灯する車両があります）または本製品によるアイドリング中に上記の状態になった場合。 対策 上記の状態になっていないか確認してください。
5	ブッブッブッブッ、 ○ ○ ○ ○ ブッブッブッブッ ○ ○ ○ ○	初期設定未検出エラー	初期設定ができていない可能性があります。 対策 「初期設定および動作確認（⇒ P15 ～ 16）」を行なってください。

※ ○は約 0.2 秒を示します。⬭は約 1 秒を示します。⬭は約 2 秒を示します。
※ 再度エラーブザー音を確認したい場合は、エンジン停止中にリモコンのエンジンスイッチ (E) を押した後、液晶表示部に『SET』と表示されている間にストップスイッチ (■) を押してください。

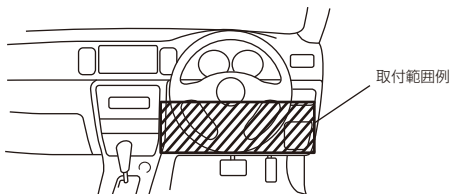
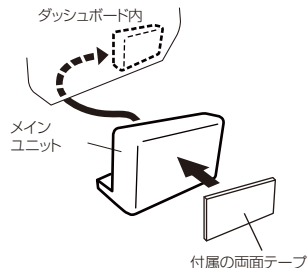
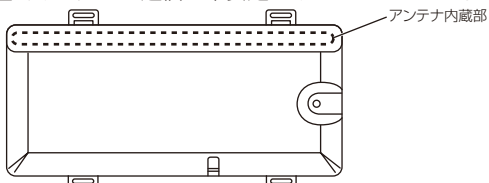
リモコンからのエラー音

同じ周波数帯の電波が周辺に出ている場合は、電波が干渉してしまい送信を行えません。その場合、リモコンから「ブッブッブッ」と音が鳴ります。
その際は、場所を移動してリモコン操作を行なってください。

メインユニットの固定方法

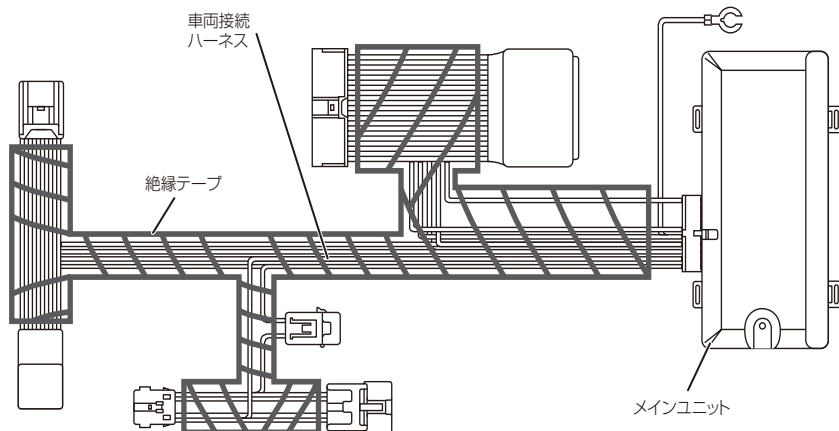
メインユニットの取付け

⚠ 注意
・メインユニットの取付固定を行う前に、初期設定および動作確認を行なってください。(⇒ P15 ～ 16)
・エアコンやヒーター等の熱風または水滴を受ける場所・直射日光の当たる場所・不安定な場所・運転の妨げになる場所への取付けは避けてください。

運転の妨げにならない場所に、付属のインシュロックや両面テープ等でしっかりと固定してください。（ダッシュボード内側等）

付属インシュロックを使って車両に固定する場合	付属の両面テープで固定する場合
メインユニットの取付穴4箇所に付属のインシュロックを通して車両の配線束等にメインユニットを固定してください。	メインユニットをダッシュボード内の平らな場所に貼ります。

※ メインユニットの内蔵アンテナ部を**車両金属部分から 5cm 以上離して**固定してください。通信距離が短くなったり、通信が不安定になることがあります。

各種ハーネス配線の保護

全ての動作が正常と確認できたら、各種ハーネスに絶縁テープを巻いて、
ハーネスの保護を必ず行なってください。

各種ハーネスの保護について

・車両接続ハーネスに必ず市販の絶縁テープを巻いて、保護をしてください。
・各種ハーネスがコラムシフトやステアリング可動部などと接触してショートし、メインユニットのヒューズ切れやメインユニットの故障、車両ヒューズ切れなどの本体の動作不良になる恐れがあります。
・また、絶縁テープを巻いたハーネスをダッシュボード内（コラムカバー内等）に収納する際、振動でハーネスが擦れないよう確実に固定をし、各種ハーネスと車両金属部がショートしないよう気を付けて収めてください。

⚠ 注意

**各種ハーネスと車両金属部の接触によるショートが原因の本体動作不良または
車両接続ハーネスの加工等、車両故障に関しては弊社では一切責任を負いません。**

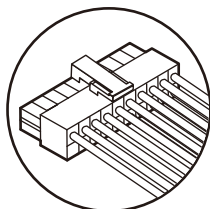
対応オプションの接続場所

本製品は下記オプションが取付けできます。

※ 下記オプション以外は取付けできません

■ Be-970 ドアロック配線キット
本製品のリモコンでドアロック / ドアアンロック操作を行うことができます。
(⇒ P22)

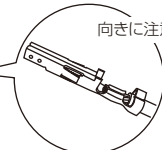
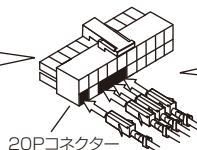
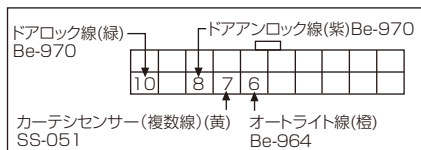
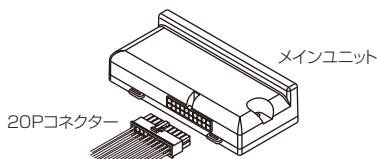
■ Be-964 オートライト線
接続することで、車両のオートライト機能使用時エンジン停止後にヘッドライトを消灯することができます。(⇒ P24)

■ SS-051 カーテシセンサー (複数線)
ドアの開閉を検出してエンジン停止、オートドアロックを解除します。(⇒ P26)
※ 取付け車両によってカーテシセンサーの配線が必ず必要になる場合があります (⇒ P11)

※線側から見た図

NO.	WR720PS / WR820PS
1	使用済み
2	
3	
4	
5	
6	オートライト線
7	カーテシセンサー(複数線)
8	ドアアンロック配線
9	未使用
10	ドアロック配線

NO.	WR720PS	WR820PS
11	使用済み	使用済み
12		
13		
14		未使用
15		使用済み
16		
17	未使用	
18		
19		
20	使用済み	未使用

オプション接続方法

1 20P コネクターをメインユニットから外し下記図の向きにオプション配線を差し込みます。
※ 一度差し込むと抜けなくなりますのでご注意ください

2 メインユニットに 20P コネクターを差し込んでください。

ドアロック / ドアアンロック配線の接続 OP

車両へドアロック / ドアアンロック配線を行うことで、本機リモコンでドアロック / ドアアンロック作動させることができます。（操作方法は⇒ P31）

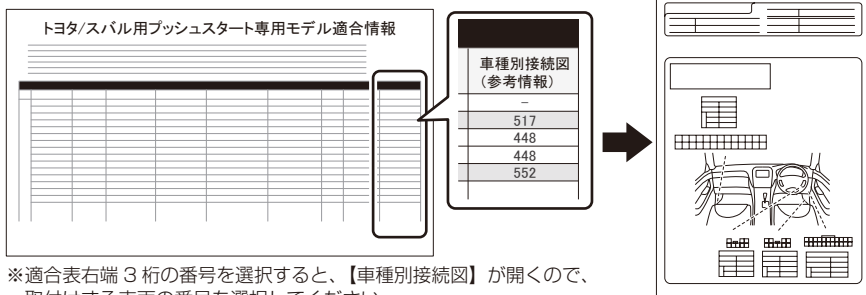
※ **オプション Be-970（ワイヤレスドアロック配線キット）が必要になります。**

※ 車両によってはドアロック機能が使用できないことがあります。車種別ハーネス適合表で確認してください。

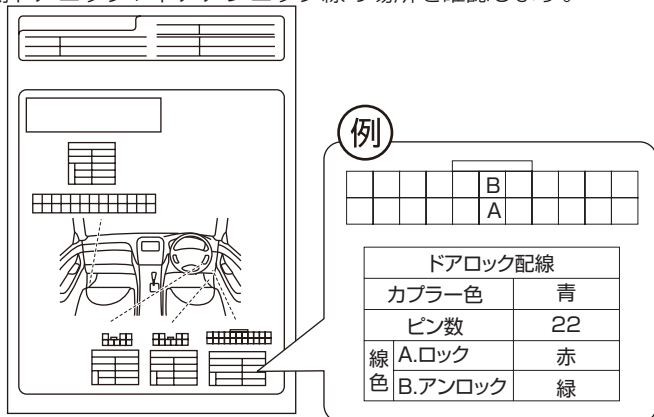
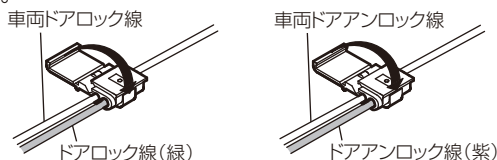
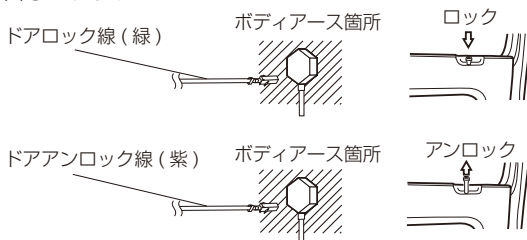
⚠ 注意

- **本製品によるアイドリング中は、純正のキーレスエントリーが作動しません。**
- **シートベルト警告灯用のコネクター等、純正の車両コネクター類は絶対に外さないでください。本機作動中にドアロック / ドアアンロックが正常に作動しません。**

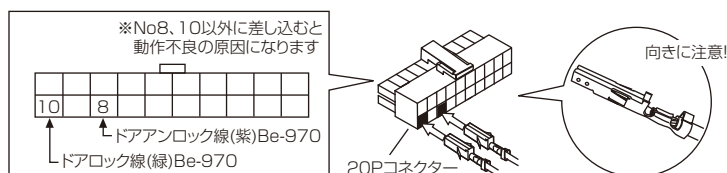
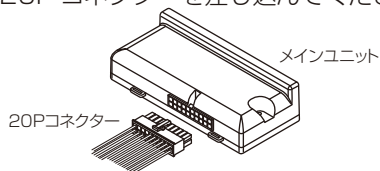
接続方法

1 弊社ホームページの適合表内から車種別接続図を開きます。

※適合表右端３桁の番号を選択すると、【車種別接続図】が開くので、取付けする車両の番号を選択してください。

2 車両側ドアロック / ドアアンロック線の場所を確認します。

ドアロック配線		
カプラー色		青
ピン数		22
線色	A.ロック	赤
	B.アンロック	緑

3 ドアロック（緑）/ ドアアンロック線（紫）の圧着端子部（ギボシオス端子）を切断し、車両側ドアロック線 / ドアアンロック線にそれぞれエレクトロタップで接続します。

4 エレクトロタップで接続後、必ず Be-970（ワイヤレスドアロック配線キット）の**端子部をボディアースに接触させ**、ドアロック / ドアアンロックが正常に作動するか確認します。

5 20P コネクターの差し込み番号を確認後、下記のようにしっかり差し込んでください。

※ 一度差し込むと抜けなくなりますのでご注意ください

NO. 8 → ドアアンロック線 (紫)
NO. 10 → ドアロック線 (緑)

6 メインユニットに 20P コネクターを差し込んでください。

7 20P コネクターを差し込んだ後、再度初期設定および動作確認を行なってください。(⇒ P15 ～ 16)

オートライト線の接続 OP

オートライト制御機能（⇒ P33）を ON に設定すると、車両のオートライト機能が ON の場合でもエンジン始動が可能になります。

運転席側ドアのカーテシ線と本製品を接続することで、車両のオートライト機能使用時、エンジン停止後にヘッドライトを消灯する事ができるようになります。

※ オプション Be-964 オートライト線が必要です。

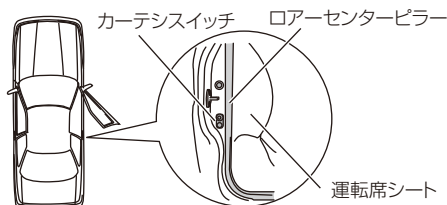
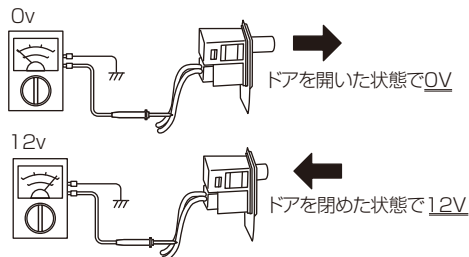
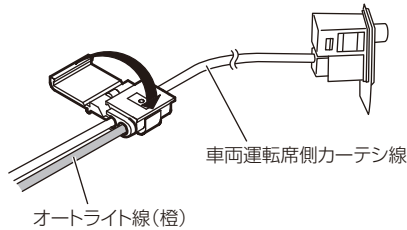
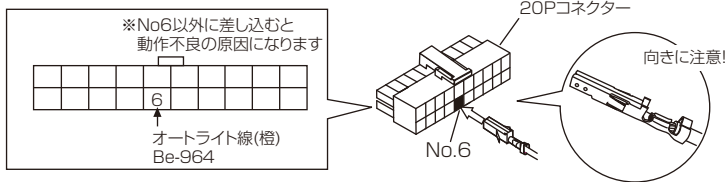
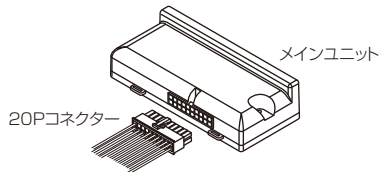
※ Be-964 オートライト線は、オプション Be-970 ワイヤレスドアロック配線キットの青色線・桃色線でも代用可能です。

また、通常オートライト制御機能を ON にした場合、本製品によるアイドリング中にドアを開けてもエンジンは停止しませんが、ドアカーテシ配線（⇒ P26 ～ 27）を行う事でエンジン停止やオートドアロック解除をさせることもできます。

※ 別売オプション SS-051 カーテシセンサー（複数線）が必要です。

オートライト線の接続

1 運転席側ロアーセンターピラーのカバーを外します。

※ 外せない場合は、カーテシスイッチをはずします。

2 運転席側ドアのカーテシ線をテスター等で探します。

3 オートライト線(橙)と車両運転席側カーテシ線をエレクトロタップで接続します。
※ 運転席側以外のカーテシ線に接続した場合は正常に作動しません

4 20Pコネクターの<u>No.6</u>にオートライト線(橙)をしっかり差し込んでください。
※ 一度差し込むと抜けなくなりますのでご注意ください

5 メインユニットに 20P コネクターを差し込んでください。

6 20Pコネクターを差し込んだ後、再度初期設定および動作確認を行なってください。(⇒ P15 ～ 16)

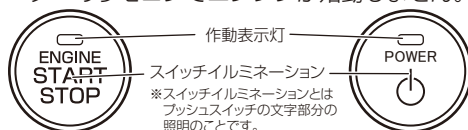
7 下記手順で動作確認を行なってください。

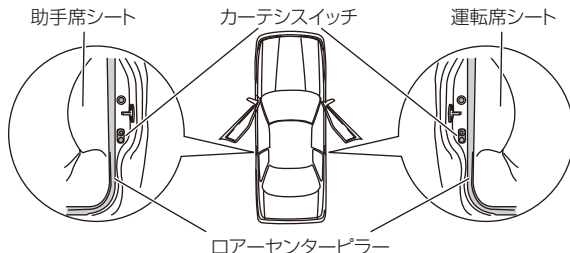
1. ダッシュボード上にあるオートライトセンサーを探しシート等で覆って暗くしてください。
2. エンジンスターターのオートライト制御機能 (⇒ P33) を「ON」に設定し、車両のオートライト機能を ON にして、エンジンスターターのリモコンでエンジンをかけてください。(⇒ P28)
   この時、ヘッドライトが点灯してエンジンが始動すれば正常です。
3. リモコンでエンジンを停止させてください。(⇒ P29)
   この時、エンジンが停止してヘッドライトが消灯すれば正常です。

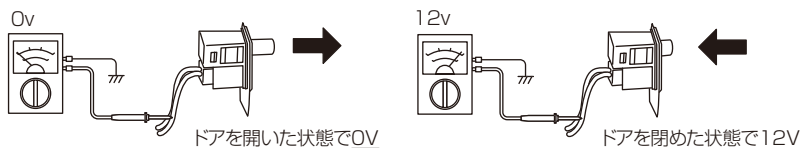
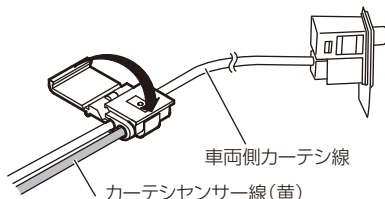
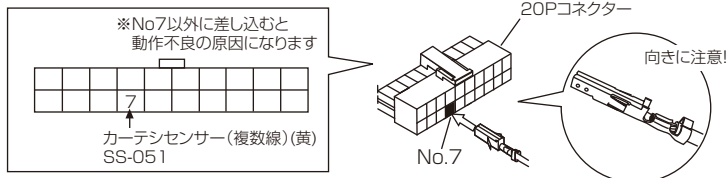
オプションの取付け

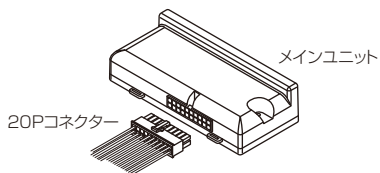
カーテシセンサー（複数線）の接続

OP

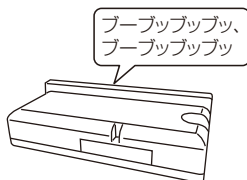
ドアを閉めヘッドライトを消しエンジンを始動した時に、プッシュスイッチ（下図）のスイッチイルミネーションが点灯したままになる車両は、必ずオプションの「SS-051 カーテシセンサー（複数線）」を使用してカーテシ配線を行なってください。
配線をしないとスターターのリモコンでエンジンが始動しません。

※ オートロック機能を設定 1（⇒ P35）にした場合も必要になります。
※ カーテシ配線接続場所については弊社ホームページ「車種別接続図」で確認してください。

1 全ドア（トランク等含む）のカーテシスイッチの場所を確認します。

2 全ドアの車両側カーテシ線をテスター等で探します。

■探し方

3 カーテシセンサー線（黄）と各ドアの車両側カーテシ線をエレクトロタップで接続します。
※ トランク等の一番遠い箇所に延長線（長い線）を使用してください

4 20P コネクターの No.7 にカーテシセンサー線 (黄) をしっかり差し込んでください。

※ 一度差し込むと抜けなくなりますのでご注意ください

5 メインユニットに 20P コネクターを差し込んでください。

6 20P コネクターを差し込んだ後、再度初期設定および動作確認を行なってください。(⇒ P15 ～ 16)

7 下記手順で動作確認を行なってください。

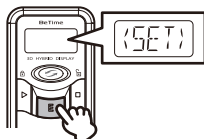
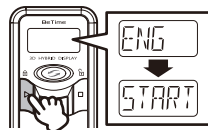
1. エンジンスターターのオートライト制御機能 (⇒ P33) を「ON」に設定し、エンジンスターターのリモコンでエンジンをかけてください。(⇒ P28)
2. カーテシセンサー線と接続した各ドアを開け、エンジンが停止し、動作不良エラー確認音表 (⇒ P18) の作動停止エラー音が鳴ることを確認します。

リモコンの使用方法

エンジンを始動させる

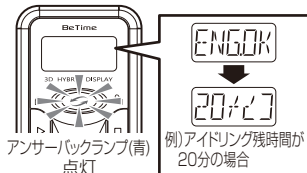
リモコンで下記の動作を行うとエンジン始動できます。エンジン始動後、設定したアイドリング時間（⇒ P35）が過ぎると自動的にエンジンを停止します。

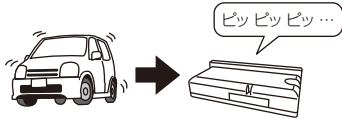
⚠ 注意

- リモコンを操作する時はアンテナを伸ばしてください。アンテナを伸ばさずに操作すると著しく電波飛距離が短くなります。
- 電池を交換した時は必ずリモコンの液晶が表示されるか確認してください。
- リモコンでエンジンを始動する時に、車両のオートライト機能を ON にしている場合、エンジン始動と同時にヘッドライトが点灯したままになることがあります。必ず車両のオートライト機能を「OFF」にしてから、リモコンでエンジン始動を行なってください。（オートライト制御機能（⇒ P33）を使用した場合は除く）
- 車から発生するノイズの影響でエンジン始動より、エンジン停止させる方が通信距離が短くなる事があります。
- 同じ周波数帯の電波が周辺に出ている場合は、リモコンから「ブッブッブッ」とエラー音が鳴り送信を行う事ができません。

1 エンジンスイッチ（E）を押し、液晶表示部に『SET』を表示させます。

2 『SET』が表示中にスタートスイッチ（▶）を押すと、アンサーバックランプ（青）が点滅し、液晶表示部に『ENG』⇒『START』と表示され、送信アニメーションが表示されます。

3 メインユニットがリモコンからの電波を受信すると、メインユニットからブザー音が「ピーッ」と約 1 秒間鳴り、リモコンにアンサーバックを送信します。リモコン側では、アンサーバックランプ（青）がゆっくり点滅し、液晶表示部に『OK』と表示されます。

※メインユニットがリモコンからの電波を受信できなかった場合は、リモコンのアンサーバックランプ（青）は点滅しません。（アンサーバック音をメロディまたは、ブザーに選択されている場合は NG 音が鳴ります）

4 エンジンが始動すると、メインユニットがリモコンへエンジン始動のアンサーバックを送ります。※ 1
リモコンがアンサーバックを受信すると、リモコンのアンサーバックランプ（青）が点灯します。※ 2
エンジン始動しなかった場合でもリモコンからアンサーバック NG 音は鳴りません。

※ 1 リトライでエンジンを始動した時は、リモコンへのアンサーバックは送信されません。その場合は、「エンジン始動の確認をする」（⇒ P30）でご確認ください。
※ 2 一部車両でエンジン始動時の電気ノイズや場所によっては、周囲の電波の影響を受けて、アンサーバックランプ（青）が点灯（アンサーバック）しないことがあります。
※場所によって、周囲の電波の影響を受けて通信距離が極端に短くなる場合があります。また、車両電気ノイズの影響でエンジンを始動させるより、エンジンを停止させる方が通信距離が短くなる事があります。

5 エンジン始動後、アイドリングを開始すると、メインユニットからブザー音が「ピッ ピッ ピッ…」と連続して鳴ります。

※　ブザー音は消音できません

6 アイドリング中にドアを開けるとエンジンが停止しますので、車に乗り手動でエンジンを再始動してください。

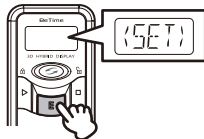
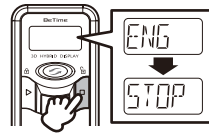
※スマートスタート機能およびオートライト制御機能がON の場合はドアを開けてもエンジンは停止しません

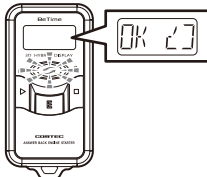
エンジンを停止させる

本製品によるアイドリング中に下記の動作を行うとエンジンを停止します。

⚠ 注意

- リモコンを操作する時はアンテナを伸ばしてください。アンテナを伸ばさずに操作すると著しく電波飛距離が短くなります。電池を交換した時は必ずリモコンの液晶が表示されるか確認してください。
- 車から発生するノイズの影響でエンジン始動より、エンジン停止させる方が通信距離が短くなる事があります。
- 同じ周波数帯の電波が周辺に出ている場合は、リモコンの受信音が「ブッブッブッ」と鳴り送信を行えません。

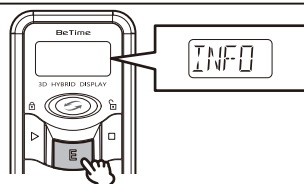
1 エンジンスイッチ (E) を押し液晶表示部に『SET』を表示させます。

2 『SET』が表示中にストップスイッチ（■）を押すと、アンサーバックランプ（青）が点滅し、液晶表示部に『ENG』⇒『STOP』と表示され、送信アニメーションが表示されます。

3 メインユニットがリモコンからの電波を受信すると、リモコンのアンサーバックランプ（青）が点滅し、エンジンが停止します。

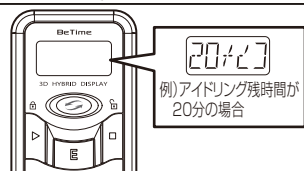
アンサーバックランプ(青)
ゆっくり点滅

※メインユニットがリモコンからの電波を受信できなかった場合は、リモコンのアンサーバックランプ（青）は点滅しません。（アンサーバック音をメロディまたは、ブザーに選択されている場合は、NG 音が鳴ります）

エンジン始動の確認をする

リモコンでエンジンの始動 / 停止状態の確認をする事が出来ます。
また、エンジンが始動している場合、アイドリングの残時間が表示されます。
※ プッシュスタートスイッチでエンジンを始動した場合は確認することはできません

1 エンジンスイッチ (E) を **2 秒長押し**します。

INFO

2 正常にエンジンが始動している場合、リモコンの液晶表示部にアイドリングの残時間が表示されます。
※エンジンが始動していない場合、『OFF』と表示されます。

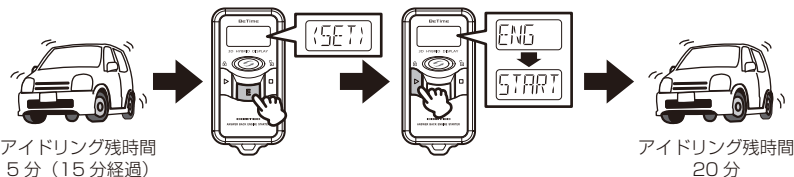
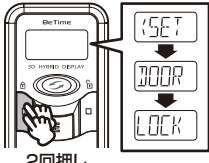
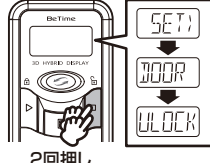
例）アイドリング残時間が20分の場合

アドバイス

アイドリング残時間表示は秒数を切り捨て表示します。そのためアイドリング残時間が 1 分以下の場合、『0』と表示します。（エンジンが停止している時は『OFF』を表示）

アイドリング時間を延長する

本製品によるアイドリング中に、再度エンジンを始動させる操作（⇒ P28）を行うとアイドリング時間を延長することができます。

1 本製品によるアイドリング中に、エンジンスイッチ (E) を押し、スタートスイッチ (▶) を押す。
・アイドリング残時間が設定した時間にリセットされ、アイドリングが継続される。

例）アイドリング時間を 20 分に設定している場合

アドバイス

エンジン始動操作を行うことで、何度でも延長することが出来ます。

ドアロック / ドアアンロックの操作方法

※ オプションを取付けドアロック配線をした場合のみ使用出来ます

ドアをロックさせる	ドアをアンロックさせる
スタートスイッチ（▶）を **2 回押し** すると、アンサーバックランプ（青）が点滅し、液晶表示部に『DOOR』⇒『LOCK』が表示され、車両のドアがロックされます。 SET ⇒ DOOR ⇒ LOCK 2回押し	ストップスイッチ（■）を **2 回押し** すると、アンサーバックランプ（青）が点滅し、液晶表示部に『DOOR』⇒『ULOCK』が表示され、車両のドアがアンロックされます。 SET ⇒ DOOR ⇒ ULOCK 2回押し

※ スタートスイッチまたはストップスイッチ **2 秒長押し** でもドアロック / ドアアンロックは動作します。

オートロック機能について

⚠ 注意

オートロックの設定（⇒ P35）を「設定 1」および「設定 2」にした場合、本製品のリモコンでドアをアンロックした後、何も操作を行なわないと約 30 秒後にドアが自動的にロックするため、インロックをしないよう十分に注意してください。

オートロック機能とは、本機のリモコンでドアをアンロックした後、何も操作を行わず、約 30 秒経過するとドアが自動的にロックする機能です。

※ 工場出荷時は OFF に設定されています

オートロック機能には下記の 3 種類の設定があります。

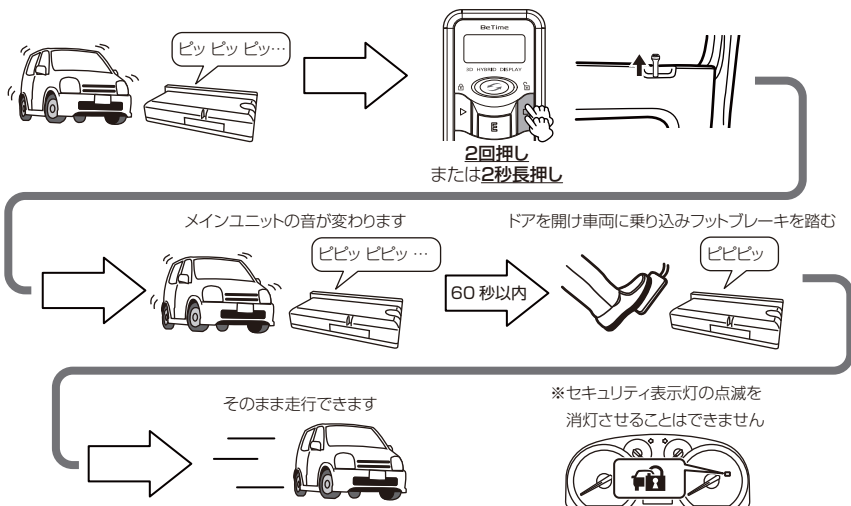
設定 1･･････････リモコンでドアをアンロックした後に、約 30 秒以内に手動でエンジンを始動するか、いずれかのドアを開けるとオートロック機能の作動を解除できます。（オプションの SS-051「カーテシセンサー（複数線）」が必要です）（⇒ P26 ～ 27）

設定 2･･････････リモコンでドアをアンロックした後に、約 30 秒以内に手動でエンジンを始動するとオートロック機能の作動を解除できます。（ドアを開けてもオートロックは解除できません）

設定 OFF･･････オートロック機能は作動しません。（初期設定）

スマートスタート機能について　OP

スマートスタート機能とは、本製品によるアイドリング中に、本製品のリモコンでドアアンロック後、60 秒以内に車両に乗り込みフットブレーキを踏むと、車両のエンジンを停止せずにそのまま走行することが出来る機能です。（⇒ P36）

※ 別売オプション Be-970 ワイヤレスドアロック配線キットの接続（⇒ P22 ～ 23）が必要です
※ 工場出荷時は OFF に設定されています

⚠ 注意

- **スマートスタート機能を使用した場合、車両の仕様上セキュリティ表示灯が点滅したままになりますが、そのまま走行しても問題はありません。**
  ※セキュリティ表示灯は、エンジン停止後に手動でエンジンを再始動させると消灯します
- **ドアアンロック後、メインユニットのブザー音が「ピッ、ピッ…」から「ピピッ、ピピッ…」に変化します。**
- **60 秒以内にフットブレーキを踏まない場合は、通常動作に復帰します。**
- **Be-970 ワイヤレスドアロック配線キットが取付けできない車両は、スマートスタート機能を使用することはできません。**

オートライト制御機能について

オートライト制御機能とは、車両のオートライト機能を ON にした状態でもエンジンの始動を可能にする機能です。(⇒ P36)
さらに､別売オプションの Be-964 オートライト線を接続(⇒ P24)することで、車両オートライト機能使用時でもエンジン停止時にヘッドライトを消灯することができるようになります。

※ 本機能の設定を ON にするだけで、ヘッドライトが点灯した状態でもエンジンを始動することができますが、別売オプションの Be-964 オートライト線を接続しないと、エンジン停止時にヘッドライトが消灯しませんので､バッテリーあがりにご注意ください。
※ Be-964 オートライト線は Be-970 ワイヤレスドアロック配線キットの青色線・桃色線でも代用可能です
※ 工場出荷時は OFF に設定されています

■車両のオートライト機能が働いた場合

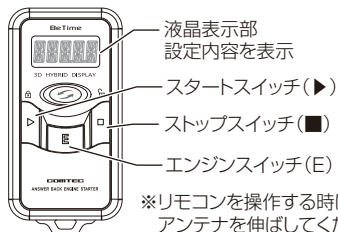
アドバイス

オートライト制御機能使用中はドアを開けてもエンジンが停止しませんので、別売オプション SS-051 カーテシセンサー（複数線）の取付けをおすすめします。
また、フットブレーキを踏むとエンジンが停止しますので、車両のプッシュスイッチでエンジンを再始動してください。

機能設定

各種設定を変更する

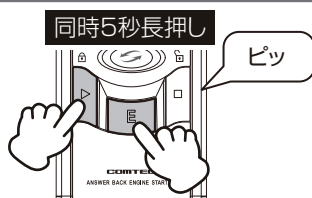
リモコン操作で、エンジンスターターの設定を変更することができます。

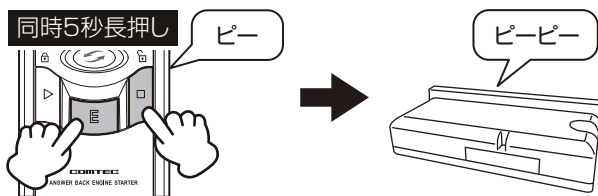
①アイドリング時間設定
②オートロック機能
③スマートスタート機能
④オートライト制御機能

⚠ 注意

- 設定操作を行う際は、リモコンとメインユニットが確実に通信できる状態で操作を行なってください。
- 設定モード開始から 30 秒間リモコンで操作を行わないと、リモコンに『TM.0』とエラー表示され、ブザー音が「ブー」と鳴って設定モードが終了します。なお、この時に変更した設定内容は全て無効になります。
- 設定登録の操作を行わないと、変更した設定内容は全て無効になります。

≪エラー表示≫

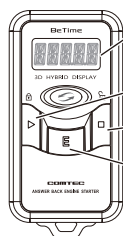
設定開始

エンジンを停止した状態でリモコンのエンジンスイッチ（E）とスタートスイッチ（▶）を同時に５秒間長押しすると、リモコンからブザー音が「ピッ」と鳴り、設定モードに入ります。

設定登録

すべての設定が完了したら、『TM.0』とエラー表示される前にリモコンのエンジンスイッチ (E) とストップスイッチ (■) を**同時に５秒間長押し**すると、リモコンからブザー音が「ピー」と鳴り、メインユニットからブザー音が「ピーピー」と鳴り、設定が登録されます。

※ 設定登録を行わないと変更が反映されません

※リモコンを操作する時は、
アンテナを伸ばしてください。

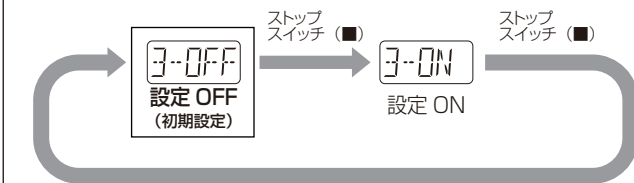
スタートスイッチ（▶）

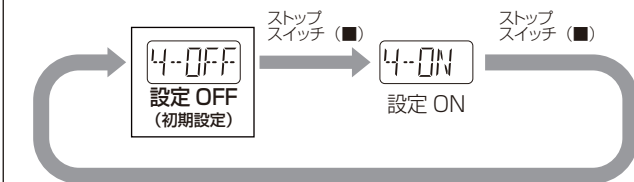
設定 1…リモコンでドアアンロック後、約 30 秒以内に手動でエンジン始動するか、ドアを開けると、オートロックを解除します。オプション SS-051「カーテシセンサー（複数線）」が必要です。（⇒ P26 ～ 27）
設定 2…リモコンでドアアンロック後、約 30 秒以内に手動でエンジン始動すると、オートロックを解除します。（ドアを開けても、オートロックは解除できません。）

機能設定

③スマートスタート
（ドアロック / ドアアンロック 配線接続時のみ有効）

SM ST

※ 設定モード完了は
「設定登録」（⇒ P34）

3-OFF
設定 OFF
（初期設定）
ストップスイッチ（■）
3-ON
設定 ON
ストップスイッチ（■）

※ 機能説明は P32 を参照ください

スタートスイッチ（▶）

※ 機能説明は P33 を参照ください

設定 OFF…車両ヘッドライト点灯時はエンジン始動しません
設定 ON …車両のオートライト機能を ON にした状態でもエンジンの始動を可能にする機能です。オプションの Be-964 オートライト線の接続を行なわない場合、エンジン停止時にヘッドライトが点灯したままになりますので、ご注意ください。

スタートスイッチ（▶）

前ページ①へ

オールリセット（初期化）する

設定モード状態（⇒ P34）で『TM.0』とエラー表示される前にリモコンのエンジンスイッチ (E) とスタートスイッチ (▶) とストップスイッチ (■) を**同時に 5 秒間長押し**すると、メインユニットからブザー音が「ブーブーブー」と鳴り、全ての機能が初期設定になります。

※ エンジンスイッチ (E) とストップスイッチ (■) で設定登録作業を行う必要はありません。

アドバイス

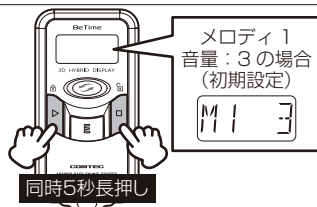
・設定操作を行う際は必ず、車内等確実にリモコンとメインユニットが通信できる状態で操作を行なってください。
・正常に設定登録やオールリセットが完了した場合、リモコンに『OK』と表示されます。

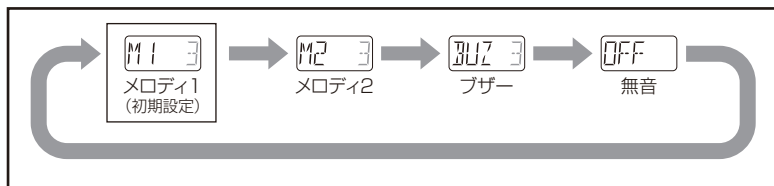
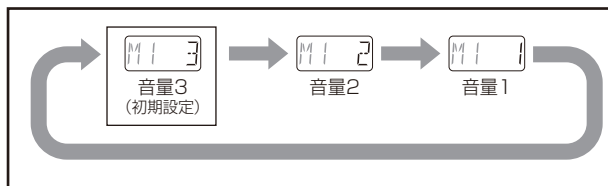
≪OK 表示≫

機能設定

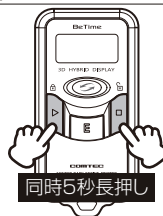
リモコンの音色と音量を切替える

リモコンの音色を、メロディ 1/ メロディ 2/ ブザー / 無音の中から選択することができます。また、音量を 3 段階から選択できます。
（初期設定は、メロディ 1/ 音量 3）

1 スタートスイッチ（▶）と、ストップスイッチ（■）を**同時に 5 秒長押し**します。
液晶表示部に現在の設定が表示されます。

2 スタートスイッチ（▶）を押すと音色が変更され、ストップスイッチ（■）を押すと音量が変更されます。

音色（スタートスイッチ（▶）で変更）

音量（ストップスイッチ（■）で変更）

3 再度スタートスイッチ（▶）と、ストップスイッチ（■）を**同時に 5 秒長押し**し、設定を登録します。

※設定登録を行わないと変更が反映されません

※設定モード開始から 30 秒間リモコンで操作を行わないと、リモコンからブザー音が「ブー」と鳴って設定モードが終了します。この時設定された内容は全て無効となります。

リモコンの ID コードを再登録する

◆下記の場合に ID コードを再登録してください

・リモコンを紛失または破損し、新しいリモコン（別売) を購入した場合
・車両バッテリーを交換や、本製品の付替えなどで、バッテリーを外したり、メインユニット各種ハーネス等を外した時に、リモコン操作でメインユニットが全く反応しない場合

○ ID コードとは・・・
リモコンにはそれぞれ重複しないように「ID コード」が設定されておりメインユニットの「ID コード」と一致しなければ、エンジンを始動させる事ができないようになっています

ID コードの再登録方法

※ 全て**フットブレーキを踏まない状態**で操作してください

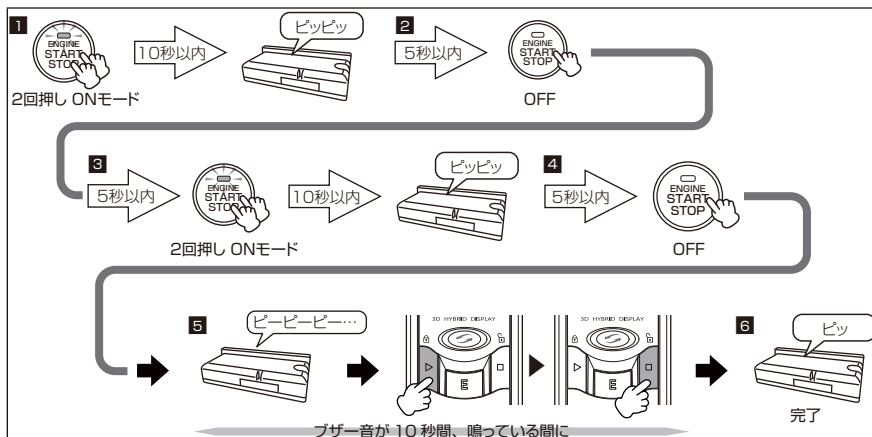
1 純正スマートキーを車内に持ち込み、プッシュスイッチを 2 回押し、ON モードにします。
10 秒以内にメインユニットからブザー音が「ピッピッ」と鳴ります。

2 **5 秒以内**にプッシュスイッチを押し、車両電源を OFF にします。

3 **5 秒以内**にプッシュスイッチを 2 回押し、ON モードにします。
10 秒以内にメインユニットからブザー音が「ピッピッ」と鳴ります。

4 **5 秒以内**にプッシュスイッチを押し車両電源を OFF にします。

5 メインユニットからブザー音が「ピーピーピー…」と **10 秒間鳴っている間**に、リモコンのスタートスイッチ（▶）を押して、リモコン液晶表示部に「SET」が表示している間に、ストップスイッチ（■）を押してください。

6 メインユニットからブザー音が「ピッ」と鳴り、再登録が完了します。

※ 指定した時間を経過した場合や順番を間違えた場合は、手動でエンジン始動後に初めからやり直してください。

付録

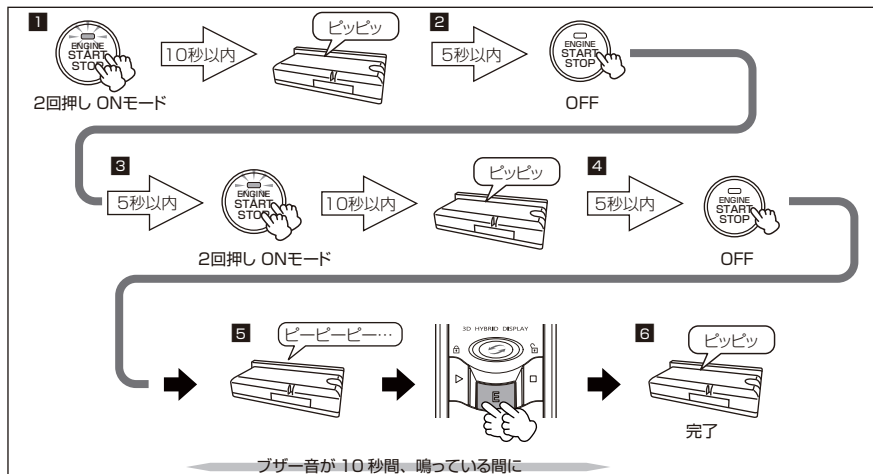
リモコンのIDコードを追加登録する

付属のリモコン以外にもう1つリモコンを追加して2つのリモコンでエンジンスターターの操作ができるようになります。

※ メインユニットとリモコンが同一の製品のみ追加登録できます
※ 別途追加購入したリモコンのみ登録します

IDコードの再登録方法

※ 全て**フットブレーキを踏まない状態**で操作してください

1. 純正スマートキーを車内に持ち込み、プッシュスイッチを2回押し、ONモードにします。**10秒以内**にメインユニットからブザー音が「ピッピッ」と鳴ります。
2. **5秒以内**にプッシュスイッチを押し、車両電源をOFFにします。
3. **5秒以内**にプッシュスイッチを2回押し、ONモードにします。**10秒以内**にメインユニットからブザー音が「ピッピッ」と鳴ります。
4. **5秒以内**にプッシュスイッチを押し車両電源をOFFにします。
5. メインユニットからブザー音が「ピーピーピー…」と**10秒間鳴っている間**に、リモコンのエンジンスイッチ(E)を2回押します。
6. メインユニットからブザー音が「ピッピッ」と鳴り、追加登録が完了します。

※ 指定した時間を経過した場合や順番を間違えた場合は、手動でエンジン始動後に初めからやり直してください。

純正スマートキーの認証再登録をする

取付け後、純正スマートキーの追加、交換などで純正スマートキーのＩＤが変更された場合、エンジンスターターでのエンジン始動ができなくなります。その場合、純正スマートキーの認証登録が必要になります。

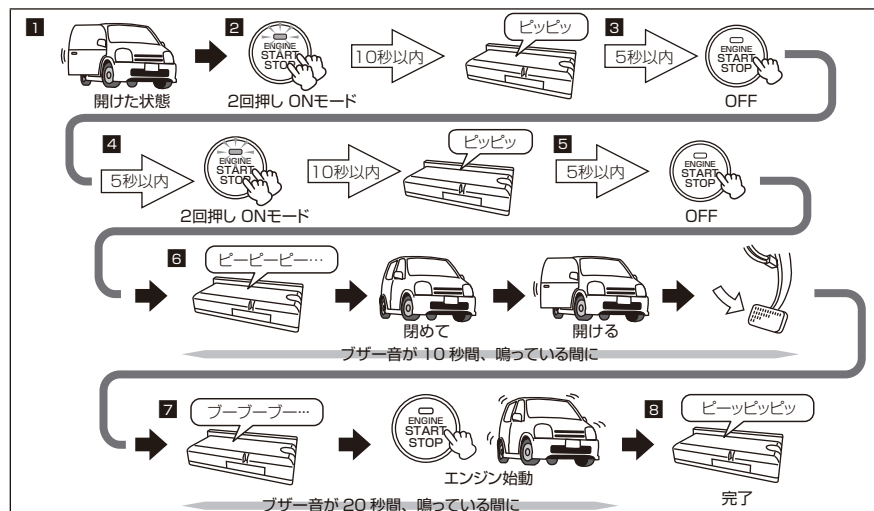
◆下記の場合に車両イモビライザー ID のデータ再登録を行なってください

・純正スマートキーを追加した　・紛失、故障等で純正スマートキーを交換した　・純正スマートキーの修理をした

純正スマートキーの認証登録方法

※ 全て**フットブレーキを踏まない状態**で操作してください

1. 追加または交換した純正スマートキーを車内に持ち込み車両のドアを開けた状態にします。※始めからお持ちの純正スマートキーは使用しません。
2. プッシュスイッチを 2 回押し、ON モードにします。
   10 秒以内にメインユニットからブザー音が「ピッピッ」と鳴ります。
3. **5 秒以内**にプッシュスイッチを押し、車両電源を OFF にします。
4. **5 秒以内**にプッシュスイッチを 2 回押し、ON モードにします。
   10 秒以内にメインユニットからブザー音が「ピッピッ」と鳴ります。
5. **5 秒以内**にプッシュスイッチを押し車両電源を OFF にします。
6. メインユニットからブザー音が「ピーピーピー…」と **10 秒間**鳴っている間に車両のドアを閉めて、開けてブレーキペダルを踏みます。
7. ブザー音が「ブーブーブー…」に変わり、**20 秒間**鳴っている間にブレーキペダルを踏んだままエンジンを始動します。
8. 登録が完了するとメインユニットから「ピーピッピッ」と完了のブザー音が鳴ります。

付
録

付録

通信周波数切替方法について

※ 通常は通信周波数を変更する必要はありません

混信･妨害電波･同周波数帯の電波状況等により、通信ができなかったり、アンサーバックがリモコンに戻ってこない等、通信が安定しない場合は下記操作を行い、通信周波数チャンネルを任意で切替えることによって本機をより安定した電波環境で使用できます。

⚠ 注意
・メインユニットとの通信ができない場所では本設定は正常に行えません。必ず車内等確実にリモコンとメインユニットが通信できる状態で操作を行なってください。

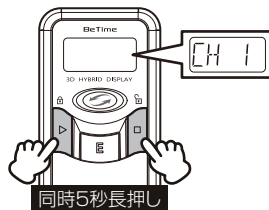
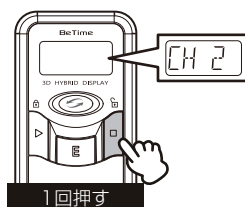
リモコンとメインユニットの通信周波数を同時変更する

通信周波数をチャンネル 1 からチャンネル 2 へ変更する手順を説明します。
（チャンネル2からチャンネル 1 の変更も同様）

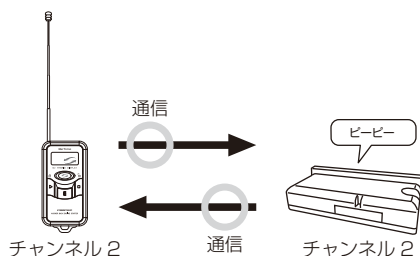
1）エンジンを停止した状態でリモコンのエンジンスイッチ (E) とスタートスイッチ（▶）を**同時に5 秒間長押し**すると、リモコンからブザー音が「ピッ」と鳴り、設定モードに入ります。

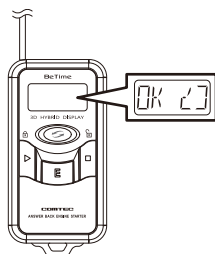
⚠ 注意
・設定モード開始から 30 秒間リモコンで操作を行わないと、リモコンに『TM.0』とエラー表示され、ブザー音が「ブー」と鳴って設定モードが終了します。なお、この時に変更した設定内容は全て無効になります。 **・設定登録の操作を行わないと、変更した設定内容は全て無効になります。**

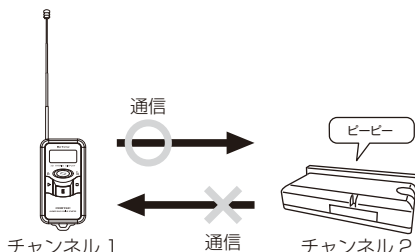
≪エラー表示≫

2）スタートスイッチ(▶)とストップスイッチ(■)を**同時に 5 秒間長押し**すると、周波数切替えモードに入り、液晶表示部に現在の設定が表示されます。

3) ストップスイッチ（■）を1度押し、
チャンネル2『CH 2』に切替えます。

4) リモコンのエンジンスイッチ (E) とストップスイッチ（■）を
同時に5秒間長押しすると、メインユニットからブザー音が
「ピーピー」と鳴り、設定が登録されます。

※設定登録を行わないと変更が反映されません

※この時、リモコンとメインユニットが通信できない場合は（⇒ P45）へ

5) リモコンの液晶表示部に『OK』と表示され、アンサーバック OK 音が
返ってくれば設定完了です。

※この時リモコンへのアンサーバックが NG の場合は（⇒ P44）へ

リモコンの通信周波数を変更する

リモコンへのアンサーバックがNG音となり、メインユニットのみチャンネル2へ変更され、リモコン側はチャンネル1のまま変更されていないときは、リモコンのみ周波数切替を行う必要があります。

⚠ 注意

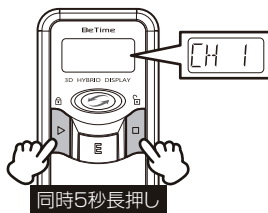
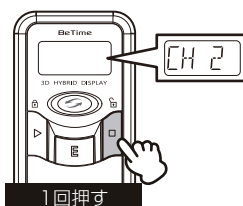
- **メインユニット側がチャンネル2、リモコン側がチャンネル1と相違しているためリモコンとメインユニットとの通信が一切の操作が行えません。**
- **必ずリモコンとメインユニット側のチャンネルを合わせてください。**

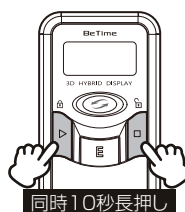
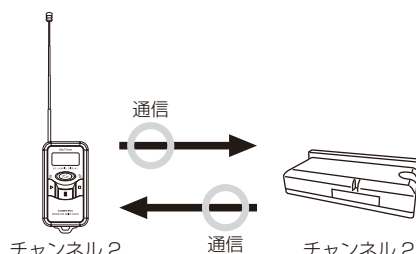
1）エンジンを停止した状態でリモコンのエンジンスイッチ(E)とスタートスイッチ（▶）を**同時に5秒間長押し**すると、リモコンからブザー音が「ピッ」と鳴り、設定モードに入ります。

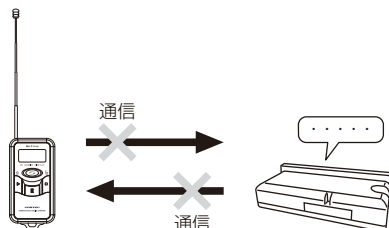
⚠ 注意

- **設定モード開始から30秒間リモコンで操作を行わないと、リモコンに『TM.0』とエラー表示され、ブザー音が「ブー」と鳴って設定モードが終了します。なお、この時に変更した設定内容は全て無効になります。**
- **設定登録の操作を行わないと、変更した設定内容は全て無効になります。**

≪エラー表示≫

2）スタートスイッチ(▶)とストップスイッチ（■）を**同時に5秒間長押し**すると、周波数切替えモードに入り、液晶表示部に現在の設定が表示されます。

3）ストップスイッチ（■）を1度押し、
チャンネル2『CH 2』に切替えます。

4）リモコンのスタートスイッチ (▶) とストップスイッチ (■) を**同時に 10 秒間長押し**すると、リモコンからブザー音が「ピッピッ」と鳴り液晶表示が消え、リモコン単体の設定が『チャンネル 2』に変更されます。

※設定登録を行わないと変更が反映されません

5）リモコンとメインユニットが両方とも『チャンネル 2』同士となり、通信が可能になれば設定完了です。

リモコンとメインユニットが通信できない場合

・周囲の電波状況等によりリモコンとメインユニットの間で通信ができず、メインユニットから「ピーピー」と鳴らないときは、車両を移動する等、通信が行える場所へ移動し再度設定を行なってください。(⇒ P42)
・リモコンのみチャンネルが変わっていることが考えられます。リモコン単体の通信周波数切替方法によりリモコンとメインユニットのチャンネルを同一にする必要があります。(⇒ P44)

付録

故障かな？と思ったら

症状	確認内容	対処方法	参照ページ
リモコンでエンジンが始動しない。 ※本体の電源が入らない	・本製品に適合した車両ですか？	・適合車両以外取付けできません。	―
	・車種別専用ハーネスは確実に接続されていますか？	・ハーネスのすべてのコネクターを確実に接続してください。	P12～14
	・アース端子は接続されていますか？	・アース端子をボディアースへ確実に接続してください。	P12
	・リモコンの電池が消耗していませんか？	・新しい電池と交換してください。	P8
	・リモコンの液晶画面は表示されますか？	・電池カバーをしっかりはめて電池の導通をさせてください。	P8
	・動作確認（⇒P15～16）は全て終了し、ブザー音の確認もできましたか？	・メインユニットのIDコードが消失している可能性があるため、IDコードを再登録（⇒P39）し、動作確認を行なってください。	P15～16
	・フットブレーキハーネスに付いているヒューズ（10A）が切れていませんか？	・車両接続ハーネス等配線のショートが考えられます。配線を再確認後、市販のヒューズ（10A）交換をしてください。	―
リモコンでエンジンが始動しない。 ※本体の電源は入る	・車内で「ピロリ…ピロリ…」とブザー音が鳴っていませんか？	・初期設定および動作確認を行なってください。	P15～16
	・車両接続ハーネスは確実に接続されていますか？	・確実に接続してください。	P12～14
	・バッテリー交換後、初期設定および動作確認を行いましたか？	・バッテリーを外した場合は、必ず、初期設定および動作確認を行なってください。	P15～16
	・初期設定および動作確認は全て終了し、ブザー音の確認もできましたか？	・初期設定および動作確認を行ない、IDコードを再登録（⇒P39）を行なってください。 初期設定を行わないと本機は動作しません。	P15～16
	・動作不良エラーのブザー音が鳴りますか？	・動作不良エラー確認表を参照し、初期設定および動作確認を行なってください。	P17、18
	・車両ストップランプは点灯しますか？	・車両ストップランプのヒューズが切れている可能性があります。ヒューズを確認してください。	―
	・アース端子は確実に接続されていますか？	・アース端子が、確実にアースポイントに接続されているかを確認してください。	P12
	・スイッチイルミネーションが点灯したままではありませんか？	・一部車両でオプションSS-051カーテシセンサー（複数線）が必要になります。	P11

症状	確認内容	対処方法	参照ページ
リモコンでエンジン始動するが、設定時間よりも先にエンジンが停止してしまう。	・アイドリング時間の設定は確実ですか？	・「機能設定」を参照しながら、アイドリング時間を変更し、設定登録をしてください。	P35
	・アース端子は確実に接続されていますか？	・アース端子が、確実にアースポイントに接続されているかを確認してください。	P12
リモコンで操作できる距離が極端に短い。	・リモコンのアンテナは伸ばしてありますか？	・リモコンのアンテナを伸ばしてください。	P9
	・リモコンを手等で包みこんでいませんか？	・リモコンを正しく操作してください。	P9
	・リモコンと車の間に遮蔽物がありませんか？（金属・鉄筋コンクリート・トタン壁等）	・遮蔽物の少ない場所へ移動してください。 ※ 電気の流れる材質は、電波を通しにくいです。	P9
	・リモコンの電池電圧が低下していませんか？	・電池を２枚とも新しいものに交換してください。	P8
リモコンでドアロック / ドアアンロックができない。	・ドアロック配線の接続箇所は間違っていませんか？	・接続箇所を確認してください。	P22
	・運転席側のシートベルト警告コネクターが外れていませんか？	・シートベルト警告コネクターが外れている場合は確実に接続してください。	－
リモコンの操作スイッチを押しても液晶が表示されない。	・電池が消耗していませんか？	・電池を２枚とも新しいものに交換してください。	P8
	・電池の向きが正しくセットされていますか？	・向きを確認し、正しくセットしてください。	P8
使用中にメインユニットから接続確認メロディ「ドレミファソラシド」が鳴る。	・アース端子は確実に接続されていますか？	・アース端子を別の場所へ取り直してください。	P12
その他	・動作が不安定。	・アース端子を別の場所へ取り直してください。	P12

付録

アフターサービスについて

取付けには専門知識が必要です。取付けはお買い上げの販売店または、カーディーラーにご依頼ください。お客様ご自身での取付けサポートは行なっていません。また、お客様ご自身で取付けられた場合は保証が受けられません。

保証書

・保証書は、必ず「販売店名·購入年月日」などの記入をご確認のうえお受け取りになり、保証内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

・**保証書に販売店名、購入年月日を証明するものが無いもの、コピーした保証書は保証対象外とさせて頂きます。**

保証期間

ご購入日より 3 年間です。(リモコンは 1 年間。ただし、電池などの消耗部品は除く)

修理を依頼されるとき

「初期設定および動作確認」(⇒ P15 ～ 16) と「故障かな？と思ったら」(⇒ P46 ～ 47) を参照し点検をしていただいても、なお症状が改善されない場合は、販売店へご相談いただき故障状況をなるべく詳しくご連絡ください。

・保証期間内の場合

恐れ入りますが、取付け販売店に保証書をそえて、製品をご持参ください。保証規定に従って修理いたします。

・保証期間が経過している場合

取付け販売店にまずご相談ください。修理によって機能が持続できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

・**本製品の故障による代替品の貸出しは弊社では一切行なっておりません。**

・**本製品を修理のため、お送り頂く場合の送料および取付け・取外し等にかかる全ての費用は、保証に含まれておりません。送料着払いにて発送された場合、弊社からお客様に着払いにて返送させていただきます。あらかじめご了承ください。**

アフターサービスおよび同梱品の追加購入について

アフターサービス等についてご不明な点は販売店にお問い合わせください。

リモコンを紛失または破損

・リモコンを紛失や破損した時は、販売店にお問い合わせいただきご購入ください。

・新しいリモコン（オープン価格）を購入された場合は、「ID コードの再登録」をご覧いただき、ID コードの再登録を行なってください。(⇒ P39)

本書に従って、正常な取付け・接続・使用状態で製品に故障が生じた場合は、「保証書」の保証規定に従って修理いたします。ただし、上記以外の取付け・接続·使用状態による車の故障や事故等の付随的傷害·損害の保証については、弊社は一切の責任を負いかねます、あらかじめご了承ください。

製品仕様

リモコン

技術基準	RCR 標準規格テレコントロール用無線設備適合
送信周波数	429MHz 帯　2 チャンネル任意切替式
識別 ID コード	1000 万種
送信出力	10mW
電波形式	F1D
呼出名称	送信時に自動送出
周波数安定度	± 4ppm 以内
周波数偏位	± 2.5KHz 以内
送信時間	3 秒以内
送信休止時間	2 秒以上
受信周波数	429MHz 帯　2 チャンネル任意切替式
受信感度	－ 116dBm（25℃）で安定動作
局発安定度	± 4ppm 以内
送受信アンテナ	ロッドアンテナ
動作温度範囲	－ 10℃～＋ 60℃
使用電池	リチウム電池　CR2025 × 2
ケース寸法	31（W）× 58（H）× 13.8（D）mm　突起部除く
重量	28.0g（電池含む）

メインユニット

技術基準	RCR 標準規格テレコントロール用無線設備適合
送信周波数	429MHz 帯　2 チャンネル任意切替式
送信出力	10mW
電波形式	F1D
呼出名称	送信時に自動送出
周波数安定度	± 4ppm 以内
周波数偏位	± 2.5KHz 以内
送信時間	3 秒以内
送信休止時間	2 秒以内
受信周波数	429MHz 帯　2 チャンネル任意切替式
受信感度	－ 116dBm（25℃）で安定動作
動作温度範囲	－ 20℃～＋ 70℃
電源電圧	12V 車専用 (DC8V ～ 16V)
待機電流	平均 7mA 以下
寸法	73（W）× 115（H）× 32.5（D）mm　(突起部除く)
重量	275g（コード含む）